

2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 アステリア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3853 URL <https://www.asteria.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 洋一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 齊藤 裕久 TEL 03-5718-1655
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 機関投資家及び個人投資家向け

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,547	19.8	1,291	32.7	1,520	42.5	1,037	40.1	937	37.7	1,545	74.6
2022年3月期第3四半期	2,127	6.7	973	110.9	1,067	154.9	740	153.5	680	131.6	885	190.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	55.77	55.77
2022年3月期第3四半期	41.31	41.31

(注) 基本的及び希薄化後1株当たり四半期利益については、親会社の所有者に帰属する四半期利益の数値を基に算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	14,523	10,464	9,681	66.7
2022年3月期	12,595	8,981	8,357	66.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	4.50	4.50
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	24.7	1,400	△59.4 ～5,100	1,400	△64.9 ～28.0	800	△68.1 ～27.5	47.64 ～190.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	17,491,265株	2022年3月期	17,491,265株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	696,548株	2022年3月期	699,092株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	16,793,371株	2022年3月期3Q	16,469,019株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、以下の通りインターネットでの決算説明会を開催する予定です。使用する資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、説明会の模様は、YouTube Liveによりライブ配信するほか、後日当社ウェブサイトでも公開する予定です。

2023年2月10日（金） 18：00～

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月～12月）における当社グループの業績は、売上収益については前年同期比で19.8%増の2,547,325千円となりました。事業別には、ソフトウェア事業の好調が続き前年同期比14.3%増、デザイン事業が前年同期比52.4%増となりました。

利益については、ソフトウェア事業の増収に加え、Astoria Vision Fund I, L.P. (AVF-1)を通じた企業投資事業において、出資先の株価下落があったものの1,155,641千円の未実現評価益を計上したことなどにより、営業利益1,291,189千円（32.7%増）、税引前四半期利益1,519,868千円（42.5%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益936,573千円（37.7%増）となりました。

《当社グループの取り組み》

当社グループでは、各国の新型コロナウイルス感染状況に応じて、出社とテレワーク勤務を柔軟に切り替え、事業のスムーズな遂行と社員の感染予防を両立しています。また国内では、サテライトオフィス等を充実させるなかでオフィスのあり方を再定義し、社員が自律的に選択するマルチワークプレイスによる新しい働き方を推進しています。本年7月には、長野県軽井沢町に新たなオフィスの開設も予定するなど、ウイズコロナ時代に適応した生産性の高いワークスタイルの定着と環境整備を進めています。

今後、当社グループにおいては、新型コロナウイルス感染拡大に端を発したデジタル化の加速は不可逆であると考えており、数年間にわたって大きく成長すると考えられる「D4G」（Data, Device, Decentralized, Design for Green）領域への事業展開及び戦略的投資を継続します。また当社ソフトウェア製品から培ってきた強みである「ノーコード」関連領域の取組を強化します。2022年4月ノーコードに特化したリスキリングポータルサイト「NoCode Gate(ノーコードゲート)」開設に続き、同年9月ノーコードによるソフトウェア文化の変革を目的とした「ノーコード推進協会」を発起人企業の一社として設立しました。普及啓発活動を通じて、企業や社会の生産性向上に寄与するDXを推進してまいります。

当第3四半期連結累計期間（以下、「当第3四半期」）における連結業績は以下のとおりです。

区分	前第3四半期	当第3四半期	増減率
売上収益	2,126,931千円	2,547,325千円	19.8%
営業利益	972,944千円	1,291,189千円	32.7%
税引前四半期利益	1,066,883千円	1,519,868千円	42.5%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	680,325千円	936,573千円	37.7%

《当社の報告セグメント》

当社の報告セグメントは、当社の経営資源の配分の決定及び業績の評価を行うための区分を基礎とし、「ソフトウェア事業セグメント」と「投資事業セグメント」の2つを報告セグメントとしています。「ソフトウェア事業セグメント」は、当社が創業来拡大している企業向けの「ソフトウェア事業」と、2017年に買収したThis Place社にて提供する「デザイン事業」の2つの事業で構成されます。「投資事業セグメント」は、2019年に開始したAsteria Vision Fundで実施する企業投資事業で構成されます。

《ソフトウェア事業セグメント》

ソフトウェア事業セグメントは2つの事業で構成され、それぞれの売上状況は以下の通りです。

ソフトウェア事業

	前第3 四半期	当第3 四半期	前年同期比
売 上 収 益	1,821,254千円	2,081,429千円	114.3%

＜売上収益の状況＞

データ連携ツール「Warp」は、幅広い業界でクラウドサービスと社内システムとの新たな連携ニーズの拡大や、改正電子帳簿保存法などバックオフィス業務でのDX対応に伴うIT投資の拡大基調が継続しています。特にサブスクリプション版「Core」は新規顧客開拓が好調で、約40%の増収を記録しました。また、12月に「IIJクラウドデータプラットフォームサービス」のデータ連携基盤としてWarpが採用され、新たなビジネス領域となるiPaaS市場への参入も果たしました。

AI搭載IoT統合エッジウェア「Gravio」はノーコードでAIやIoTを活用したシステムを構築できることから、人手不足やオフィス回帰に伴うワークプレイスの見直しにより、人流把握や三密状態を回避する効率的なオペレーションを実現するシステムの導入に向け、企業のオフィスでの利用用途や観光業での引き合いが増加しました。

モバイルアプリ作成ツール「Platio」は、プログラミング経験がない人でも現場のDXや各種業務アプリの内製化を実現するノーコードツールとして注目されるなか、業務の効率化に向けた幅広い業界からの引き合いにより、約60%の増収を記録しました。また、2022年4月に発売を開始したPlatio Connectは、スマホアプリの開発プラットフォームとしてソフトウェアベンダーからの受注が拡大しています。

商談支援アプリ「Handbook X」は、営業職を中心に幅広いニーズがあり、導入の手軽さや多様なコンテンツへのアクセスのしやすさなどが評価されています。

デザイン事業

	前第3 四半期	当第3 四半期	前年同期比
売 上 収 益	305,678千円	465,896千円	152.4%

＜売上収益の状況＞

米国におけるIT系新規顧客を中心とした売上増のほか、英国・米国の既存顧客からの追加受注を獲得できたことにより、前年同期比で増収となりました。

《投資事業セグメント》

投資事業セグメントは、2019年に開始したAsteria Vision Fund I, L.P. (AVF-1)を通じた企業投資事業です。当社のソフトウェア事業と同じ「D4G」領域への投資を実施しており、その業績は、国際会計基準に基づき投資先の評価額の増減を計上しています。

	前第3 四半期	当第3 四半期	前年同期比
評 価 額 の 増 減 (△ は 減 少)	694,818千円	1,155,641千円	166.3%

主として、AI開発のGorilla Technology Group社、宇宙開発のSpace X社の評価額が増加しました。

※「評価額の増減(△は減少)」は、要約四半期連結損益計算書の「(その他の収益)又は(その他の費用)」に含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は14,522,533千円となり、前連結会計年度末に比べ1,927,814千円増加しました。この主な要因は、その他の金融資産(主に投資有価証券)1,541,608千円の増加によるものです。

(負債)

負債合計は、4,058,862千円となり、前連結会計年度末に比べ445,505千円増加しました。この主な要因は、営業債務及びその他の債務282,777千円の減少に対し、その他の流動負債209,512千円及び繰延税金負債515,435千円の増加によるものです。

(資本)

資本合計は、10,463,671千円となり、前連結会計年度末に比べ1,482,309千円増加しました。この主な要因は、その他の資本の構成要素466,228千円、利益剰余金844,548千円及び非支配持分158,102千円の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末より245,204千円増加し、2,061,310千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は378,009千円(前年同期304,310千円の獲得)となりました。主に税引前四半期利益1,519,868千円の獲得に対し、その他の収益1,164,403千円(主に投資にかかる未実現収益)及び営業債務及びその他の債務288,542千円の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は70,857千円(前年同期47,477千円の使用)となりました。主に貸付金の回収による収入431,590千円のほか、有形固定資産の取得による支出386,158千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は219,390千円(前年同期233,508千円の使用)となりました。主に配当金の支払額75,510千円及び長期借入金の返済による支出107,100千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、2022年8月12日公表の業績予想から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,816,106	2,061,310
営業債権及びその他の債権	391,602	269,323
棚卸資産	4,211	9,374
その他の金融資産	375,804	9,256
その他の流動資産	234,898	96,056
流動資産合計	2,822,621	2,445,319
非流動資産		
有形固定資産	503,157	852,542
のれん	449,860	447,316
無形資産	94,117	140,791
持分法で会計処理されている投資	352,009	347,487
その他の金融資産	8,217,730	10,125,886
その他の非流動資産	155,224	163,192
非流動資産合計	9,772,098	12,077,214
資産合計	12,594,718	14,522,533

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	242,800	242,800
営業債務及びその他の債務	530,308	247,531
未払法人所得税等	—	129,283
その他の金融負債	43,510	56,391
その他の流動負債	656,093	865,604
流動負債合計	1,472,711	1,541,609
非流動負債		
引当金	9,341	9,361
借入金	500,200	393,100
繰延税金負債	1,240,632	1,756,067
その他の金融負債	385,824	354,373
その他の非流動負債	4,648	4,352
非流動負債合計	2,140,646	2,517,252
負債合計	3,613,357	4,058,862
資本		
資本金	2,275,343	2,275,343
資本剰余金	2,457,037	2,470,468
自己株式	△538,012	△538,012
その他の資本の構成要素	258,934	725,162
利益剰余金	3,903,237	4,747,785
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,356,539	9,680,747
非支配持分	624,823	782,924
資本合計	8,981,362	10,463,671
負債及び資本合計	12,594,718	14,522,533

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	2,126,931	2,547,325
売上原価	342,258	443,324
売上総利益	1,784,674	2,104,001
販売費及び一般管理費	1,539,197	1,976,838
その他の収益	734,018	1,164,403
その他の費用	6,551	376
営業利益	972,944	1,291,189
金融収益	105,395	299,060
金融費用	6,201	71,950
持分法による投資損益(△損失)	△5,256	1,569
税引前四半期利益	1,066,883	1,519,868
法人所得税費用	326,595	482,847
四半期利益	740,287	1,037,022
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	680,325	936,573
非支配持分	59,962	100,449
四半期利益	740,287	1,037,022
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	41.31	55.77
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	41.31	55.77

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	740,287	1,037,022
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	71,419	172,487
純損益に振り替えられることのない項目合計	71,419	172,487
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	73,128	335,002
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	73,128	335,002
その他の包括利益合計	144,547	507,490
四半期包括利益	884,834	1,544,511
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	815,978	1,386,410
非支配持分	68,856	158,102
四半期包括利益	884,834	1,544,511

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					
	資本金	資本剰余金	自己株式	在外営業 活動体の 換算差額	その他の 包括利益を 通じて公正 価値で測定 する金融資産	合計
2021年4月1日時点の残高	2,275,343	2,452,226	△532,437	119,415	△257,634	△138,219
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	64,234	71,419	135,653
四半期包括利益合計	—	—	—	64,234	71,419	135,653
配当金	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△4,971	—	—	—
自己株式の処分	—	63	△234	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	3,196	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替	—	—	—	△643	19,281	18,639
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	3,259	△5,206	△643	19,281	18,639
2021年12月31日時点の残高	2,275,343	2,455,485	△537,643	183,007	△166,934	16,073

親会社の所有者に帰属する
持分

	親会社の所有者に帰属する 持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
	千円	千円		
2021年4月1日時点の残高	1,486,814	5,543,727	177,559	5,721,286
四半期利益	680,325	680,325	59,962	740,287
その他の包括利益	—	135,653	8,894	144,547
四半期包括利益合計	680,325	815,978	68,856	884,834
配当金	△75,639	△75,639	—	△75,639
自己株式の取得	—	△4,971	—	△4,971
自己株式の処分	—	△171	—	△171
株式に基づく報酬取引	—	3,196	—	3,196
非支配持分との取引	—	—	24,171	24,171
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替	△18,639	—	—	—
その他	290	290	—	290
所有者との取引額合計	△93,988	△77,296	24,171	△53,125
2021年12月31日時点の残高	2,073,151	6,282,409	270,587	6,552,995

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					
	資本金	資本剰余金	自己株式	在外営業 活動体の 換算差額	その他の 包括利益を 通じて公正 価値で測定 する金融資産	合計
2022年4月1日時点の残高	2,275,343	2,457,037	△538,012	414,921	△155,986	258,934
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	277,350	172,487	449,837
四半期包括利益合計	—	—	—	277,350	172,487	449,837
配当金	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	13,431	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替	—	—	—	—	16,391	16,391
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	13,431	—	—	16,391	16,391
2022年12月31日時点の残高	2,275,343	2,470,468	△538,012	692,270	32,892	725,162

親会社の所有者に帰属する
持分

	親会社の所有者に帰属する 持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
	千円	千円	千円	千円
2022年4月1日時点の残高	3,903,237	8,356,539	624,823	8,981,362
四半期利益	936,573	936,573	100,449	1,037,022
その他の包括利益	—	449,837	57,653	507,490
四半期包括利益合計	936,573	1,386,410	158,102	1,544,511
配当金	△75,633	△75,633	—	△75,633
自己株式の取得	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	13,431	—	13,431
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替	△16,391	—	—	—
その他	—	—	—	—
所有者との取引額合計	△92,025	△62,202	—	△62,202
2022年12月31日時点の残高	4,747,785	9,680,747	782,924	10,463,671

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,066,883	1,519,868
減価償却費及び償却費	131,040	103,031
金融収益	△105,395	△299,060
金融費用	6,201	71,950
持分法による投資損益(△は益)	5,256	△1,569
その他の収益	△734,018	△1,164,403
その他の費用	6,551	376
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△47,121	122,279
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	75,566	△288,542
その他	61,030	230,916
小計	465,992	294,847
利息及び配当金の受取額	12,085	41,699
利息の支払額	△5,537	△5,139
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	△168,229	46,602
営業活動によるキャッシュ・フロー	304,310	378,009
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△62,529	△386,158
有形固定資産の売却による収入	108	204
貸付けによる支出	△333,390	—
無形資産の取得による支出	—	△218
貸付金の回収による収入	—	431,590
関係会社株式の売却による収入	33,667	—
投資の取得による支出	△111,140	△151,303
投資の売却及び償還による収入	400,063	186,361
その他	25,743	△9,620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,477	70,857
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△143,039	△107,100
非支配持分からの払込による収入	23,541	—
リース負債の返済による支出	△38,733	△40,485
配当金の支払額	△75,277	△75,510
新株予約権の発行による収入	—	3,705
財務活動によるキャッシュ・フロー	△233,508	△219,390
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	23,325	229,476
現金及び現金同等物の期首残高	2,451,427	1,816,106
現金及び現金同等物の為替変動による影響	11,543	15,727
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,486,296	2,061,310

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当企業集団の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、「ソフトウェア事業」および「投資事業」の2つを報告セグメントとし、2つの事業を基礎として組織が構成されております。

「ソフトウェア事業」は、当社が創業来拡大している企業向けの「ソフトウェア事業」と「デザイン事業」の2つの事業で構成されます。

「投資事業」は、米国に拠点を置く100%子会社Asteria Vision Fund Inc.が管理する投資で構成されております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及び資産の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円	千円	千円
売上収益					
外部収益	2,126,931	—	2,126,931	—	2,126,931
セグメント間収益	50	20,000	20,050	△20,050	—
合計	2,126,981	20,000	2,146,981	△20,050	2,126,931
セグメント利益(△損失)(注2)	266,904	673,233	940,136	158	940,295
その他の収益及び費用					32,650
金融収益					105,395
金融費用					6,201
持分法による投資損益(△損失)					△5,256
税引前四半期利益					1,066,883
その他の項目					
減価償却費及び償却費	130,776	264	131,040	—	131,040

(注) 1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引取消去額を表示しております。

2. セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しておりますが、その他の収益及び費用のうち、Asteria Vision Fund I, L.P. で保有する純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関する評価損益は投資事業のセグメント利益に振り替えております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円		
売上収益					
外部収益	2,547,325	—	2,547,325	—	2,547,325
セグメント間収益	123	24,566	24,689	△24,689	—
合計	2,547,448	24,566	2,572,014	△24,689	2,547,325
セグメント利益(△損失) (注2)	148,095	1,134,996	1,283,091	△288	1,282,803
その他の収益及び費用					8,386
金融収益					299,060
金融費用					71,950
持分法による投資損益(△損失)					1,569
税引前四半期利益					1,519,868
その他の項目					
減価償却費及び償却費	102,707	325	103,031	—	103,031

(注) 1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引消去額を表示しております。

2. セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しておりますが、その他の収益及び費用のうち、Asteria Vision Fund I, L.P. で保有する純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関する評価損益は投資事業のセグメント利益に振り替えております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。